

高崎市立大類中学校

第1学年だより

No.7

平成21年4月27日(月)

みちしるべ
道標



〒370-0036 高崎市南大類町 1445 TEL027-352-3253 E-mail:orui-chu@ted.city.takasaki.gunma.jp 佐藤健二

高原学校の学習が始まりました

金曜日の5・6校時の総合の時間から、高原学校の学習が始まりました。1年生にとって高原学校は今年最大の行事です。7月1日～2日の1泊2日で榛名湖畔にある榛名高原学校に行って過ごします。

ここでの生活は、クラスで1つのカッターに乗ったり、友達と共に掃除や係の仕事をしたり、食事等生活を共にしたりして、協力することの大切さや、みんなで力を合わせることでできるすばらしさなどたくさんの学習ができることと思います。そして、そうやって仲間と過ごすことで、本当に楽しい充実した時間が送れるでしょう。

5時間目に第1回高原学校集会を体育館でしました。始まりのチャイムには全員の整列が終わり、静かに座って聞く準備もできていました。私の方からプロジェクトを使って高原学校の事を一通り話しましたが、映りが悪く、見づらいところがあったにもかかわらず、最後までしっかりと良く話が聞けました。

これから、係別に計画をたてたり、クラスで色々なことを決めたりと、準備を万端にしていって、素晴らしい高原学校を1年生の194人全員で作り上げましょうね。

<高原学校の学習計画>

月日(曜)	時間	内 容	備 考
4月24日(金)	5校時	高原学校の話	学年集会(体育館)
	6校時	係決め	クラス
5月8日(金)	3校時	係打ち合わせ	学年
	4校時	係打ち合わせ	学年
5月15日(金)	3校時	カッター座席決め・役割決め	クラス
	4校時	バス座席決め	クラス
5月28日(木)	5校時	部屋割り・就寝場所決め・掃除分担決め	クラス
5月29日(金)	5校時	しおり原稿作成(係別)	学年
	6校時	しおり原稿作成(係別)	学年
6月5日(金)	5校時	フォークダンス練習	学年
	6校時	高原学校の歌練習	クラス
6月12日(金)	5校時	しおり作り① 綴じ作業	クラス
	6校時	しおり作り② 書き込み	クラス
6月19日(金)	5校時	係等からの連絡	学年集会(体育館)
	6校時	予備	クラス
6月30日(火)	6校時	事前指導	学年集会(集会ホール)
7月1日(水)		高原学校1日目	
7月2日(木)		高原学校2日目	

※ 予定ですので、変更になることもあります。

友達作りが進んでいます！

5つ以上の小学校から集まった大類中学校の1年生ですから、入学当時のクラスの中には知らない友達がたくさんいました。でも、3週間経った現在は、新しい友達ができ、新しい人間関係を築こうと頑張っている様子があちこちで見られます。

人間には色々なタイプがあります。積極的に「ねえねえ、名前教えて！友達になろうよ！」なんて言える人は羨ましいですね。きつともうたくさん友達を増やしたでしょう。でも、中にはそういったくてもなかなか言い出せない人もいます。

先生達の願いとしては、クラス全員が仲良しな、学年全員が仲良しな集団になって欲しいです。ですから、みなさんには周りの友達の様子を見て、友達作りの得意な人が友達作りを苦手とする人をカバーするような、そんな働きかけをしてくれるとありがたいです。自分の持っている優しさを、近くの友達に分けてあげましょう。

友だちづくり10のポイント

山田暁生（やまだあきお）

- ① **人見知りしないで誰にでも話しかけよう。**
友だちであるとか、ないとか、あまり考えないで、どんなことでもいいから、きっかけをつかんで話しかけてみよう。
- ② **進んで助けてあげよう。**
誰だって親切にされればうれしい。そばに困っている人がいたら、そっとお手伝いしてあげよう。
- ③ **共通の話題も持っておこう。**
「あんな話はずまらない！」とか「あの人は話が合わない」と決め付けて身を引かず、友だちが興味や関心を持っているものにも目を向けてみよう。
- ④ **共動（一緒に動き）、共遊（一緒に遊ぶ）してみよう。**
みんなが「一緒にやろう」と言った時、「私はいやだ」とか「そんなの面白くないから私はやらない」という態度を取らないで、一緒にやってみよう。
- ⑤ **楽しみを分かち合おう。**
自分が楽しいと思うことがあったら、つまらなさそうにしている人に「ねっ、一緒にやろうよ。面白いよ」と、自分の楽しみを分けてあげよう。
- ⑥ **出来るだけ心を明るく持とう。**
「自分は一人ぼっちでつまらない」というような態度や表情をしていると、暗い感じに見えて、周りの人たちも近寄りにくくなってしまう。出来るだけ自然な形で明るく快活にふるまおう。
- ⑦ **友だちをよい面から見よう。**
「みんな私をのけ者にしている」とか、「あの人のここが悪いからきらいだ」などと思っていると、相手の人も、きみのよい面を見られなくなる。
- ⑧ **友だちを言葉に出してほめてあげよう。**
良い点が見つかったら、「わあすごい！」「ね、ね、それどうやったらそんなふうにもうまくできるの？」というふうにはめて、自分から先に相手の人の心に飛び込んで行くといい。
- ⑨ **ありがとう（感謝）の心を持とう。**
人にはいろいろな性格があるから、それをすぐ変えることはできないけれど、「そんなの当たり前だ」と受け止めず、人がやってくれたことを素直に感謝するようにしよう。そして、心で思っているだけではなく、はっきりと言葉に出して「ありがとう」と言おう。「ありがとう」といくら言っても損はしない。
- ⑩ **自分を受け入れてもらう前に、相手を受け入れてあげよう。**
「私の言うことをあの人は聞いてくれない。分かってくれない。だからきらいよ！」と思っていたのではダメ。まず先に相手を認め、受け入れてあげよう。すると、相手の心がほぐれて、きみの考えも相手の心にスーッと入っていく。

大人も子どもも人間の心は変わらない。上の10のポイントを実行したら間違いなく仲良くなれるし、お互いに信じあうことが出来て、一緒に生活をしてもうまくいく。この反対をすると、どんなに仲良かった人も仲間割れし、相手を敵にしてしまう。